

4段階評価 4:期待以上 3:ほぼ期待どおり 2:やや期待を下回る 1:改善を要する

項目	評価指標及び具体的目標	自己評価	自己評価結果の考察・分析及び改善	関係者評価	学校関係者評価委員の意見
I 町民総ぐるみによる教育の推進	1 学校や家庭、地域等が一体となって取り組む教育を推進する。 ・ NF教育研究会での共通した取組の啓発 ・ 自治公民館や関係機関等との連携	3.0	・ NF教育研究会では、各部会の活動内容の周知と小中連携事項の整理が必要である。 ・ 自治公民館との連携を図ることはできた。今後、更に一体となり教育を推進する具体策として、学校からの提案が必要である。	3.2	・ NF教育研究会の取組を今後どう進めていくのかを明記していただけたら、分かりやすいと感じた。 ・ 公民館活動への積極的参加は、児童や地域の方のことが分かり、よい取組になっていると思う。
	2 家庭や地域の教育力の向上に努める。 ・ 中学校区でのあいさつ運動の取組 ・ 家庭教育学級の内容の充実	2.9	・ 唐中とのあいさつ運動は、学期1回実施できた。この取組の輪を家庭や地域にも呼びかけ、教育力の向上につなぐ必要がある。 ・ 第2回学校保健委員会(第12回家庭教育学級)は、参観日とできあわせ、全児童も参加する形で行い、出席率は93%であった。これからも、親子で参加できる体験参加型の内容を取り入れていくようにしたい。	3.2	・ 子どもたちが元気にあいさつしてくれる姿に感動している。 ・ 父親の参加は、他校に比べるとよいと思う。 ・ 参観日に合わせた学校保健委員会の出席率93%は素晴らしいが、地域をいかに取り込み、学校運営に参加の協力要請をしていくかが必要と考える。
	3 地域とともにある学校づくりを推進する。 ・ 学校からの情報の随時発信 ・ オープンスクールの実施	2.9	・ 定期的な学校便りは発行できたが、双方向の情報発信の場になるよう、内容を工夫していく必要がある。 ・ 地域の方の参加が少ないため、期間中に地域を巻き込んだ活動等の工夫も行っていきたい。	3.2	・ 地域の方への学校便りは、学校のことがわかるのでよいが、逆に地域の方からの便りによる意見を聞くのもよいかもしれない。 ・ 地域の方への学校便りは、よい取組である。地域の方から意見を聞いてみるのもよいと思う。
II 生きる基盤を育む教育の推進	1 確かな学力を育む教育を推進する。[頭を鍛える] (1) 少人数指導や個別指導を充実させる。 ・ もっと楽しく、もっと分かる授業を展開 ・ ICT活用した授業の推進 ・ 表現力を育成 ・ 読書活動を推進 (2) 望ましい学習習慣を身に付けさせる。 ・ 授業開始前着席と黙想、学習用具の準備、立腰指導の徹底 (3) 学力の向上を図る。 ・ 単元テスト80%達成とweb学習単元評価システムの100%実施	3.1	・ ICT機器を活用した授業は、各学級で、日々実践されており、使用方法のミニ研修会も開き、活用能力の向上に努めた。 ・ 発表の機会を意図的に設定したことで、一人一人が、自信をもって発表できるようになりつつある。 ・ 町立図書館とも連携を図り、読書活動を推進した。1.2年生100冊、3年生以上50冊の読書目標を、現在50%の児童が達成している(30.1.17現在)。残りの児童も、目標達成させるよう指導する。 ・ 立腰指導については、児童が自ら意識して取り組むまでには至っていないので、継続した取組が必要である。 ・ webテストの実施はできた。今後、結果の分析と対応を行い、学力の向上を図る。	3.2	・ 児童一人一人の発表力が高いと思う。 ・ 発表の機会を意図的に設けていることを高く評価したい。 ・ 一人一人に密着したマンツーマン的な教育が行われており、少人数の学校の長所が出ている。 ・ 読書活動の目標をもたせることで、目標達成をしていることを喜ばしく思う。読書推進への取組の結果は、発表の機会で、児童が自信をもって発表することにつながっていくものと思う。 ・ 町立図書館との連携を図り、読書活動を推進したことは、素晴らしい。 ・ 図書室をはじめ、教室が暗い感じがした。本のレイアウトや電気について検討してはどうだろうか。
	2 豊かな心を育む教育を推進する。[心を鍛える] (1) 人権教育、道徳教育等の推進を図る。 ・ 人権教育を中核として、生命尊重や思いやりの心、郷土愛の育成 ・ 特別支援教育体制の充実 (2) 生徒指導の充実を図る。 ・ 山本小当たり前のこと3か条の徹底 ・ アンケート、教育相談、ハートフル委員会の実施によるいじめ・不登校・問題行動等の防止 (3) 基本的な生活習慣を定着させ、社会規範の意識を高める。 ・ 時と場に応じた言動、無言清掃	2.8	・ 生命尊重、思いやりの心を育む指導は、教育活動全体で実施できた。 ・ 特別支援教育に関し、個別の指導計画の整備はできた。本年度の有り様を朱書きして引き継ぎ、活用できるようにする。 ・ いじめアンケートを実施し、実態把握に努めた。しかし、学校評価において、保護者の意識と教師の意識に温度差が見られた。その対応として、保護者に対するいじめアンケートを実施する予定である。 ・ 日常の清掃活動で、指導の徹底を図っている。	3.1	・ 生命の尊厳、思いやり、優しさなどの心の教育は、必要不可欠なものであり、それを全体で取り組んだことに大きな意義があると感じる。 ・ 子どもたちの落ち着きと、大人への信頼感が感じられる。 ・ 「当たり前のこと3か条」の徹底をお願いしたい。 ・ 高齢者とのふれあいを思いやりを育てるにはよいと思う。 ・ いじめに関して、保護者との意識の違いはどのようなものなのか。 ・ 保護者へのアンケートを実施することで、早期に解決できるように望む。
	3 健やかな体を育む教育を推進する。[体を鍛える] (1) 基礎体力、運動技能の向上を図る。 ・ 体力向上プランに基づく体力向上の推進 (2) 保健・安全教育を推進する。 ・ 健康的な生活習慣の定着(う歯治療率85%以上) ・ 安全意識、危険回避能力の育成 (3) 食育を推進する。 ・ 給食指導の充実と弁当の日の実施	3.0	・ 体力向上プランを再度周知し、落ち込みに特化した指導を行い、運動技能の向上を図る。 ・ 家庭に呼びかけ、健康的な生活習慣を意識し生活することができた。 ・ 定期的な避難訓練を実施し、児童の危機回避能力を高めることができた。今後は、シミュレーションによる内容も取り入れ、安全意識の高揚を図っていく。 ・ 弁当の日を実施し、作品展にも出品することができた。	3.1	・ 上級生、下級生が一緒になって運動している姿を見かける。身体の動きを会得するには、よいことだと思う。 ・ う歯治療率は、何%だったのか。歯の治療率向上を目指して、むし歯をなくすことを子ども自身が考える工夫が必要ではないか。 ・ 安全について、定期的に避難訓練等を計画し、危機回避能力と安全意識を高められるとよいと思う。 ・ 残菜ゼロを考え、食の大切さをしっかりと指導してもらいたい。
III 自立した社会人・職業人を育む教育の推進	1 ふるさと川南に学び、誇りや愛着を生む教育を推進する。 ・ 地域の人、もの、ことを活用した教育活動の充実 ・ 町歌斉唱 ・ 奴踊りの伝承	3.2	・ 様々な教育活動で、地域の人材を活用した授業を行うことができた。 ・ 奴踊りを継承するために、今後、総合的な学習の時間の年間指導計画に位置付けていきたい。	3.2	・ 地元の奴踊りの継承や高齢者とのふれあい等の活動を通して、児童が親しみを感じながら、先人から学ぶ学習に繋がってほしい。 ・ 山本ならではの地域の特色が生かされている。
	2 キャリア教育の推進を図る。 ・ 年間指導計画の整備 ・ 体験的な学習活動を効果的、体系的に実施	2.9	・ キャリア教育の年間指導計画を見直し、作成していくようにする。		・ いろいろな職業の方を招いて、講話を聞いたり、体験学習等のキャリア教育を行ったりする必要性を感じる。
IV 魅力ある教育を支える体制や環境の整備・充実	1 教職員の資質向上に努める。 ・ 教師力の向上 ・ 服務規律の徹底	3.1	・ 校務分掌に応じ、研修を充実できた。今後は、学んだことを広げていく機会を設定し、全職員で研修を深めていくようにする。		・ 児童数も少ないが、対応する教職員も少ないわけだから、先生一人一人の特徴を最大限に生かしたまとまりのある学校経営が必要になると感じる。
	2 学校における安全、安心の確保に努める。 ・ 安全点検の実施 ・ 交通教室の実施 ・ 避難訓練の実施	3.1	・ 安全点検は、定期的に実施でき、危険か所について随時対応していただいた。 ・ 交通教室、避難訓練は、定期的に実施できた。今後は、毎年同じ内容にならないように、課題を生かした訓練が実施できるように、実施後の整理をしていく。	3.3	・ 様々な災害への対応について、児童、教職員、家庭、地域で連携して取り組んで欲しい。 ・ 環境整備では、児童の目線での安全点検の実施は、よいことだと思う。 ・ 「毎年同じ内容にならないように」という取組は、評価できる。